

科 目 名		学 年	単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態	学 修 単 位
日本史 Japanese history		3ESC	2	90分×30回	履修	講義・通年	—
教 員 名		立石 絵里子 TATEISHI Eriko					
授 業 概 要	学校で学ぶ体系的な日本史の授業は最後となることから、限られた時間の中で、出来る限り新しい時代の学習と日本史全体の通時的な把握を、周辺の国・地域との関わりの中で行えるように配慮した。あわせて技術の歴史にも目配りを忘れないように展開を工夫した。日本史の中の地域の違いや周辺諸国との関わりに留意することで、「さまざまな文化や歴史に触れ」、「他者や他国の立場を視野に入れ」て幅広い見地から物事を判断できるように授業内容を構成した。						
到 達 目 標				評 価 方 法			
①日本史の通時的展開を各地域、各国との関わりの中で理解できる。②日本史の共時的展開を各地域、各国とのいわば横の関わりの中で理解できる。③各地域、各国、各時代に生きた異なる人々の立場や文化・歴史を理解できる。				①試験60%(1回が15%、計4回)、②自学自習の課題40%(うち、口頭試問20%、小テスト・レポート課題20%)とする。なお、単なる欠席の場合、提出物の成績は、通常の試験と同じ扱いとするので注意すること。			
学 習 ・ 教 育 目 標		(F)		JABEE基準1(2)			
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	導入(1)	シラバスについての説明および旧石器時代について説明する。	第16	幕末～明治時代(1)	幕末の歴史過程を説明する。	
	第2	旧石器時代	列島上の祖先について説明する。	第17	幕末～明治時代(2)	戊辰戦争から1870年代までを中心に説明する。	
	第3	縄文時代	生活・信仰・環境を中心に説明する。	第18	明治時代	1880年代の憲法を中心に説明する。	
	第4	弥生時代	生活・信仰・環境を中心に説明する。	第19	明治～昭和(1)	近代日本の対外戦争を中心に説明する。	
	第5	古墳時代	古墳の役割・成立の背景を中心に説明する。	第20	明治～昭和(2)	近代日本の対外戦争を中心に説明する。	
	第6	古代国家の成立	7世紀を中心に国家の成立過程を説明する。	第21	明治～昭和(3)	近代日本の対外戦争を中心に説明する。	
	第7	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う。	第22	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う。	
	第8	奈良・平安時代	①試験の解答、②奈良・平安時代について神と仏を中心に説明する。	第23	日本の敗戦	①試験の解答、②戦争終結までの過程を中心に説明する。	
	第9	奈良～鎌倉時代	仏像を軸に信仰について説明する。	第24	占領(1)	占領前期の日本を中心に説明する。	
	第10	鎌倉時代	鎌倉幕府の成立を中心に説明する。	第25	占領(2)	占領政策の転換から独立までの日本について説明する。	
	第11	江戸幕府の成立(1)	江戸時代の前史として戦国時代を説明する。	第26	戦後の経済(1)	19世紀以降の世界経済の仕組みと日本のあり方について説明する。	
	第12	江戸幕府の成立(2)	天下統一の過程を中心に説明する。	第27	戦後の経済(2)	世界経済の仕組みと戦後日本のあり方について説明する。	
	第13	江戸時代(1)	江戸時代の国の仕組みを中心に説明する。	第28	1950年代以降の日本	独立後の日本の政治と対外政策について説明する。	
	第14	江戸時代(2)	江戸時代の対外関係について幕末までを中心に説明する。	第29	冷戦の終結	1970年代～90年代の世界と日本について説明する。	
第15	まとめ	①解答、②レポート課題を説明する。	第30	まとめ	①解答と全体の学習事項をまとめ、②授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容		レポートなどの課題を課す。					
関連科目		現代社会、世界史、倫理					
教 科 書		『日本史』(東京書籍)					
参 考 書		『詳説日本史図録』(山川出版社)					
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。					
副担当教員		岩元 修一 IWAMOTO Shuichi					
備 考		テキスト・図録は毎回必ず持参すること(不携帯は減点の対象になります)。欠席状況は各自で確認すること。					